ログの収集と BigQueryを用いた分析

分析をもっと自由に

株式会社ZOZOテクノロジーズ イノベーション推進部 エンジニア 武田修平



プロフィール



ZOZOテクノロジーズ イノベーション推進部 エンジニア

武田修平 / sesta / せすた

Google Assistant 周り、Firebase、Flutter を触ってる

一児のパパで趣味は庭いじり

DroidKaigi で登壇が決まった

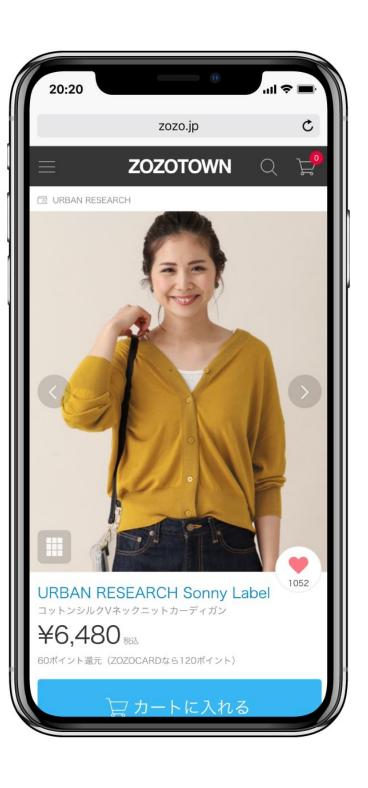
ついに個人でアプリを出したので好き勝手話せる

=> ファッション辞典



ZOZOTOWN





- 日本最大級のファッションショッピングサイト/アプリ
- 1,100以上のショップ、6,800以上のブランドの取り扱い
- 常時65万点以上の商品アイテム数と毎日平均3,100点以上の新着商品を掲載
- 即日配送サービス / ギフトラッピングサービス / ツケ払い など

http://zozo.jp/







WEAR





- 日本最大級のファッションコーディネートアプリ
- 1,100万ダウンロード突破、コーディネート投稿総数は800万件
- 全世界 (App Store / Google playが利用可能な全ての国) でダウンロードが可能
- 10万人以上のフォロワーを持つユーザー(WEARISTA)も誕生

https://wear.jp/







ZOZOSUIT





- 当社が独自に開発した採寸用ボディースーツ
- 全体に施されたドットマーカーをスマートフォンカメラで360度撮影することで、体型データを計測
- 計測した体型データは、瞬時に3Dモデル化され、ZOZOTOWNアプリに保存。3Dモデルはあらゆる角度に動かすことができ、体型を360度チェックすることが可能

http://zozo.jp/zozosuit/



ZOZO





- ○「ZOZOSUIT」で計測した体型データをもとに、一人ひとりの体型に合った「あなたサイズ」のアイテム
- ○「究極のフィット感」を実現したベーシックアイテムを提供 グローバルサイト「ZOZO.com」で海外展開
- アイテム: Tシャツ、デニムパンツ、シャツ、ビジネススーツ、 ネクタイ、ボーダーTシャツ、長袖クルーネックTシャツ など

http://zozo.jp/pb/



今回する話

・個人で開発した「ファッション辞典」の話です





分析



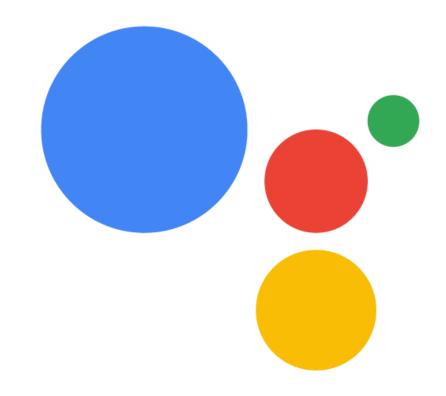
分析してますか?



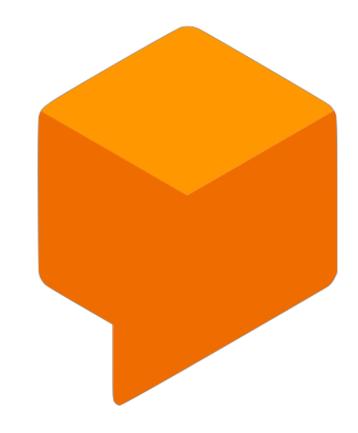
どうやって 分析してますか?



分析のよくある手段



Actions on Google の Analytics 機能



Dialogflow の Analytics や History 機能



AoG や Dialogflow でわかること

- ・アプリが何回呼び出されたか?
- ・エラー率はどれぐらいか?
- ・インテントの呼び出される順番は?



AoG: Actions on google



AoG や Dialogflow でわからないこと

- ・多く使われている言葉は?
- ・話しかけられている時間帯は?
- ・利用頻度の高いユーザーの特徴は?





要は自由に分析したい



自由に分析とは

- ・好きなデータだけ抜き出したい
 - ・発話内容
 - ・時間帯
- ・集計の仕方をいじりたい
 - ・全体の平均
 - ・時間帯ごとの合計
 - ・ユーザーベースの中央値





自由に分析するまでの手順

- 1. 生データにアクセス
- 2. データをBigQueryに同期
- 3. BigQueryを存分に叩く



1. 生データにアクセス



生データのある場所

Stackdriver Logging





Stackdriver Logging 24

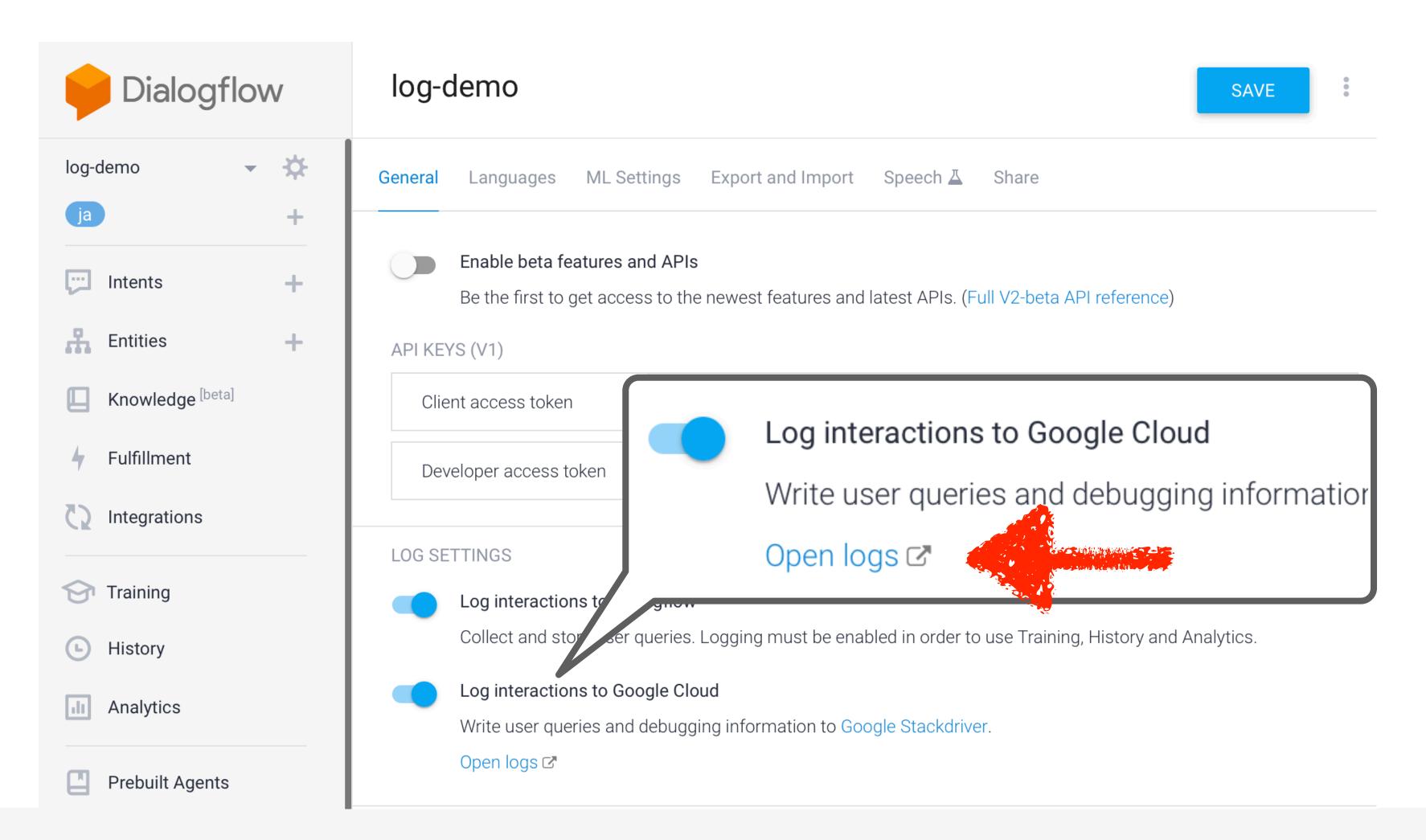
・Google Cloud の管理ツールの1つで、ログの格納や検索ができる





Stackdriver Logging に行く方法

- Dialogflow
 - => Setting()
 - => General





生データの様子

「Googleアシスタントの操作」 で絞ると出てきます



timestamp: "2018-11-21T01:55:55.559935827Z"



2. データをBigQueryに同期



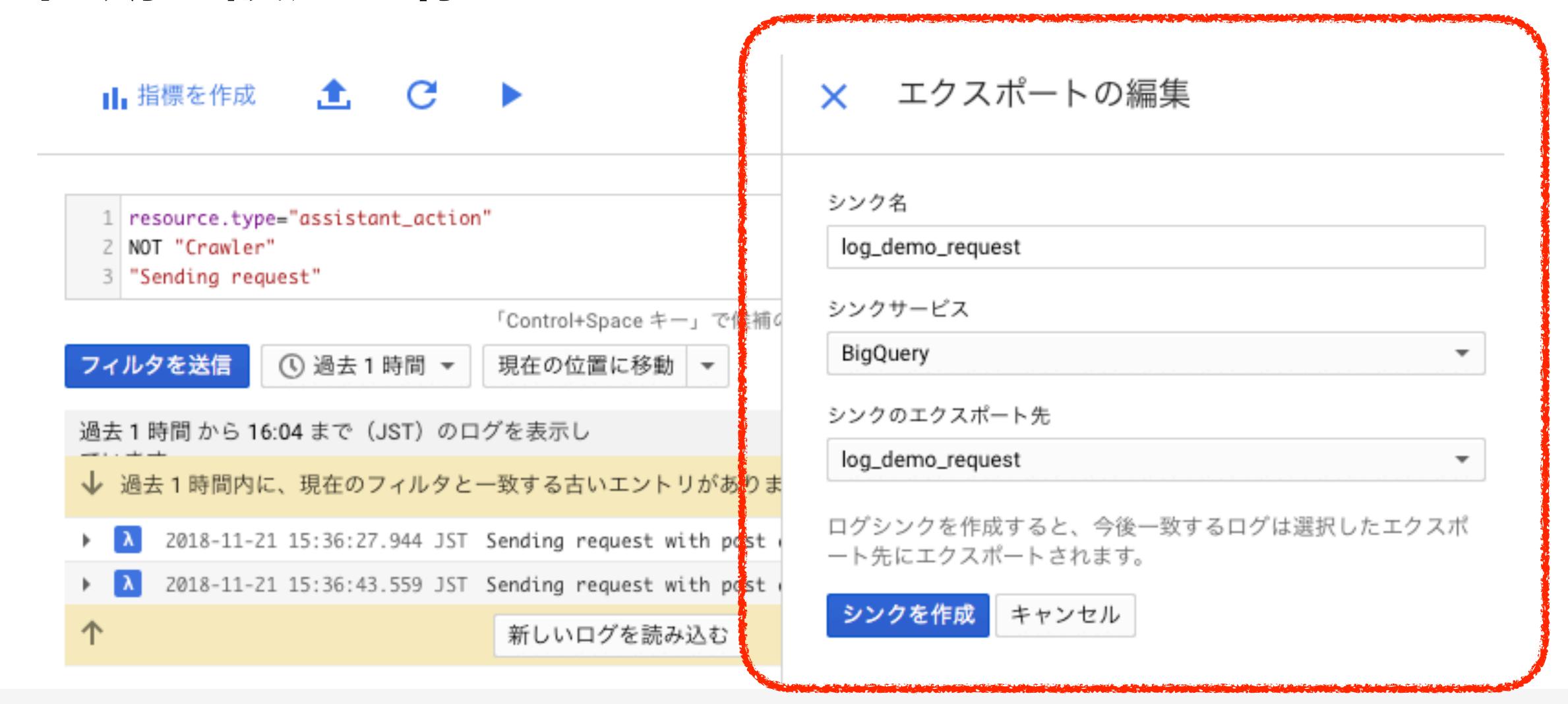
同期の方法

・Loggingのエクスポートを使う





同期の設定の様子





必要なログだけにフィルター

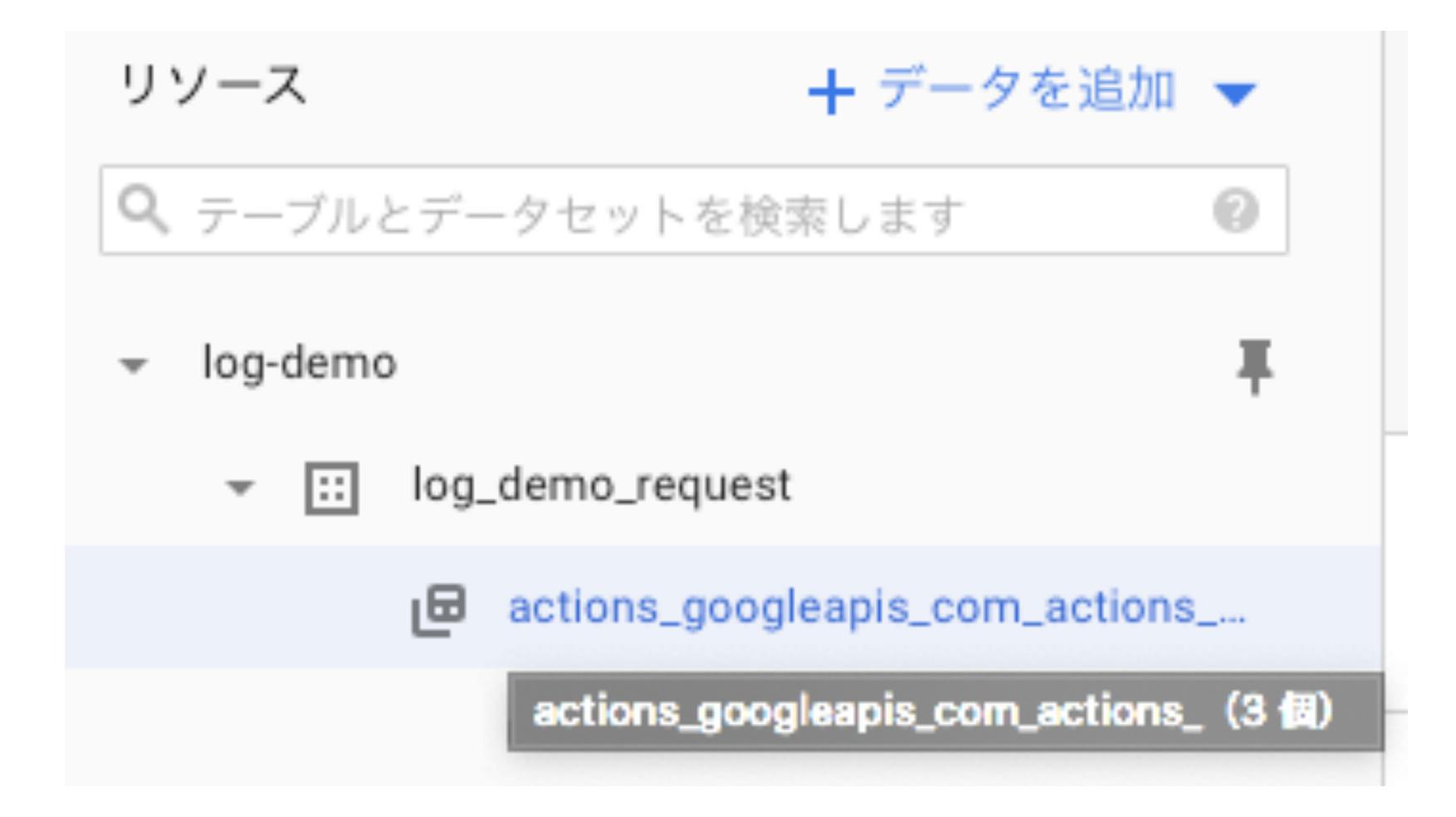
- 1. アシスタント関係のログに絞る
- 2. クローラーを除外
 - ・アプリの稼動状態を確認してるリクエストが定期的にくるため

1 resource.type="assistant_action"
2 NOT "Crawler"
3 "Sending request"

- 3. Dialogflowに送っているログに絞る
 - ・ユーザーの発話内容が入っているのはこっちなので



ジンク結果ジ



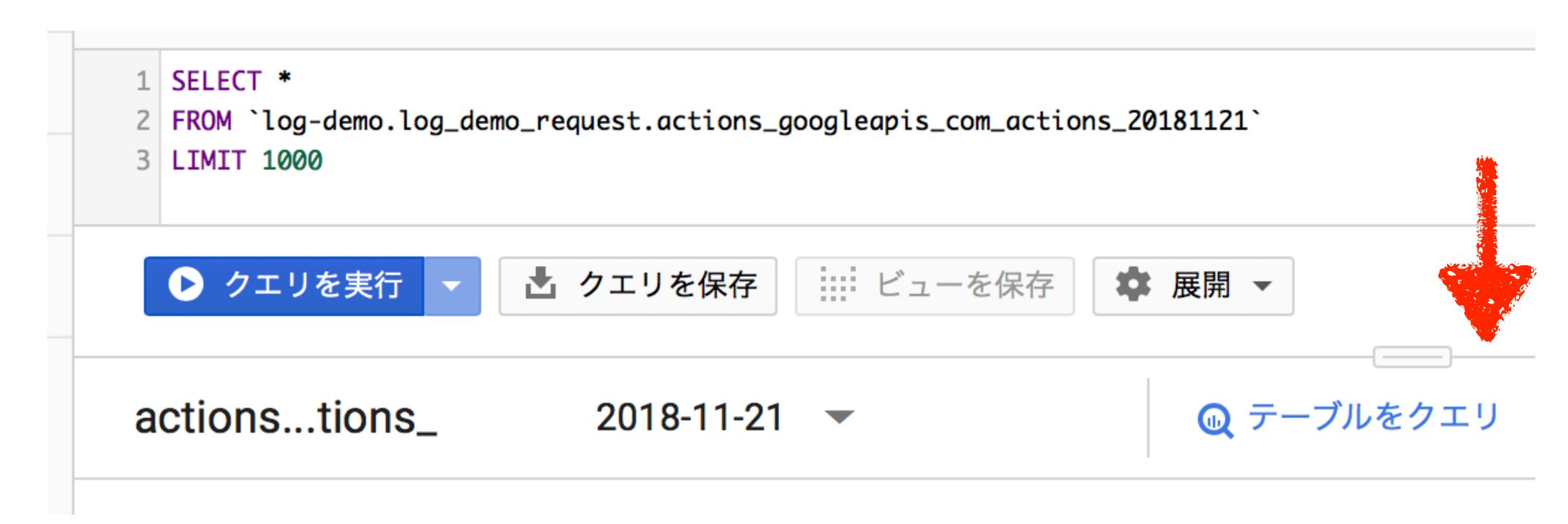


3. BigQueryを存分に叩く



好きに叩きましょう

「テーブルをクエリ」を押せばテンプレが出るので それをいい感じにいじる





例1) 発話された言葉ランキング

```
WITH formated_json as (
 SELECT
  SUBSTR(textPayload, 33, LENGTH(textPayload) - 33) as json, # json以外の部分を切り取る
  timestamp,
  resource.labels.action_id as action
 FROM `log-demo.log_demo_request.actions_googleapis_com_actions_*`
 WHERE
  _TABLE_SUFFIX >= '20181101'
  AND _TABLE_SUFFIX <= '20181107'
data as (
 SELECT
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.conversation.conversationId") as conversationId, # スキル呼び出しごとのID
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.user.userId") as userId, # ユーザーID、アカウント連携してない場合null
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.inputs[0].rawInputs[0].query") as query, # 発話内容
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.isInSandbox") as isSandbox, # 開発アカウントかどうか
  action, # Actions on Googleで認識できたアクション名
  FORMAT_TIMESTAMP('%Y-%m-%d %H:%M:%S', timestamp , 'Asia/Tokyo') as date # 発話した時間
 FROM formated_json
SELECT query, COUNT (*) as count
FROM data
WHERE isSandbox IS NULL
AND query IS NOT NULL
GROUP BY query
ORDER BY count DESC
```

行	query	count
1	ファッション辞典につないで	11
2	ファッション辞典を開いて	6
3	ファッション辞典でダッフルコートを調べて	3
4	キュロット	3
5	香氏	2
6	ファッション	2
7	スカート	2
8	パンツ	2
9	声 サイコロ	1
10	シャツ	1



例2) 時間帯ごとのスキル呼び出し回数

```
WITH formated_json as (
 SELECT
  SUBSTR(textPayload, 33, LENGTH(textPayload) - 33) as json, # json以外の部分を切り取る
  timestamp,
  resource.labels.action_id as action
 FROM `log-demo.log_demo_request.actions_googleapis_com_actions_*`
 WHERE
  _TABLE_SUFFIX >= '20181101'
  AND _TABLE_SUFFIX <= '20181107'
data as (
 SELECT
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.conversation.conversationId") as conversationId, # スキル呼び出しごとのID
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.user.userId") as userId, # ユーザーID、アカウント連携してない場合null
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.inputs[0].rawInputs[0].query") as query, # 発話内容
  JSON_EXTRACT_SCALAR(json, "$.isInSandbox") as isSandbox, # 開発アカウントかどうか
  action, # Actions on Googleで認識できたアクション名
  FORMAT_TIMESTAMP('%H', timestamp, 'Asia/Tokyo') as hour # 発話した時間
 FROM formated_json
SELECT hour, COUNT (DISTINCT conversationId) as count
FROM data
WHERE is Sandbox IS NULL
AND query IS NOT NULL
GROUP BY hour
ORDER BY hour
```

行	hour	count
1	00	239
2	01	122
3	02	31
4	03	57
5	04	18
6	06	18
7	07	70
8	80	161
9	09	317
10	10	356

※ count は迫力を出すために盛っています



好き勝手分析できるようになったのか

- ・好きなデータだけ抜き出したい => JSONの中にあるものならいける
 - ・発話内容
 - ・時間帯
- ・集計の仕方をいじりたい => StandartSQL がすごいので大丈夫
 - ・全体の平均
 - ・時間帯ごとの合計
 - ・ユーザーベースの中央値



Plus Ultra

- さらに高みへ -



BigQueryで広がる可能性

- ・他のデータと組み合わせる
 - ・Firestoreに保存してるユーザーの性別
 - Google Analytics で取った行動履歴
- 色々なエクスポート
 - ・Google スプレッドシート、Google Data Studio
 - · Re:dash



できそうなこと

- · 形態素解析
 - ・どこかしらに MeCab なりを噛ませればいけるはず
- ・会話のプロセスの分析
 - ・Actions on Google との組み合わせが良いかも



まとめ

- ・把握したいことに合わせて AoG なのか Dialogflow なのかまたは、BigQuery なのかを選ぶようにしたい
- ・思ったより簡単に集計できるようになった
 - ・Googleに体が満たされていく感覚
- プロダクトを作りに興味がある方は声をかけてください
 - 一緒に世界をかっこよくしましょう



